

富山市来月
オープン

まちなか総合ケアセンター

産後ケア・病児保育に力

4月1日にオープンする総曲輪レガートスクエアの中核施設「市まちなか総合ケアセンター」は、産後ケアや病児保育、訪問診療などの行政サービスを担う。乳幼児から高齢者までが、途切れることなくケアを受けたり交流したりできる場所を目指す。

【本記31画】

ケアセンターは「まちなか診療所」「病児保育室」「産後ケア応援室」などの機能を備える。

産後ケア応援室は最も力を入れる取り組みの一つ。5室の宿泊室を備え、産後4カ月までの母子が宿泊したり、日中のみ利用したりできる。助産師が



富山市まちなか総合ケアセンターの病児保育室

シニア在宅医療も支援

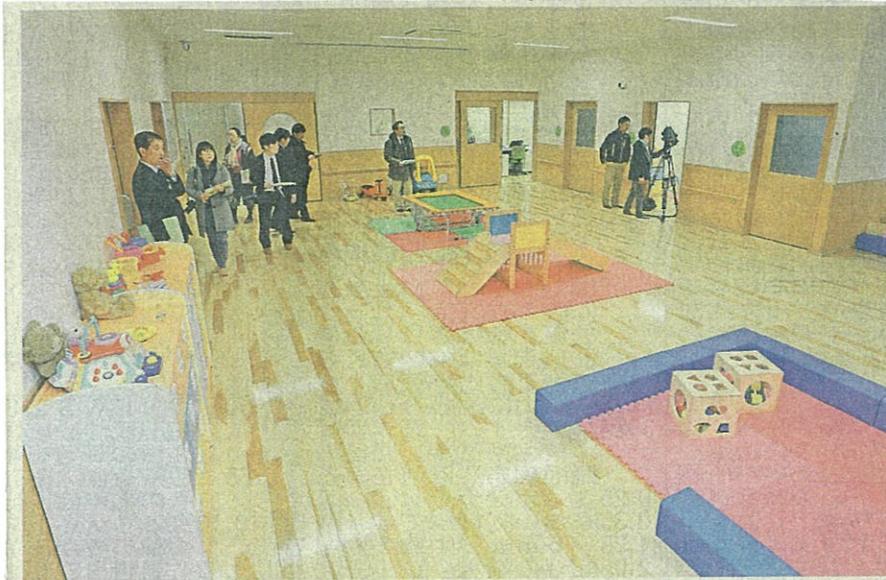
常駐し、心身のケアや育児サポートを行う。子育てに不安を感じたり体調がすぐれないときは、子どもを預けたまま子育ての指導を受けられる。

「病児保育室」は、事前に予約のある病児・病後児らを対象に看護師や保育士が保護者に代わって一時保育を行う。保育中に体調不良となり、仕事の都合などで家庭保育ができない場合に備え、お迎え型のサービスも実施する。

在宅医療の普及・啓発や相談を行う「医療介護連携室」や、訪問診療に特化した「まちなか診療所」などがあり、シニア層を含む幅広い世代をサポート。交流スペースの「まちなかサロン」では、市民を対象に無料で貸し出しを行い、健康づくりの教室・講座の開催に役立ててもらおう。

今後、施設内の民間施設と連携し、健康に関するイベントなどを定期的で開催する。市職員は「地域の健康や福祉に関するモデルエリアとなるよう取り組みでいきたい」と話している。

問い合わせは地域包括ケア拠点施設設置準備室、電話076(443)2008。



富山市まちなか総合ケアセンターのこども発達支援室—総曲輪レガートスクエア

健康福祉の拠点に

富山・総曲輪
レガートスクエア 施設内設備を公開

富山市が旧総曲輪小学校跡地で整備を進めてきた「総曲輪レガートスクエア」の報道

関係者向け内覧会が22日、行われた。約1万平方メートルの敷地に立つ健康・福祉をテーマにした官民の複合施設で、乳幼児から高齢者までを対象にサービスを提供する。4月1日から順次オープンする。

【関連記事21面、webunに動画と写真3枚】

内覧会では、施設の中核となる市まちなか総合ケアセンター内にあるこども発達支援室や病児保育室、全国初となる自治体直営の産後ケア応援室などが公開された。看護専門学校や理学療法士を養成する専門学校、スポーツクラブ、カフェなどの施設もそろい、官民の連携による包括的なケア体制の充実を目指す。

完成式典は26日午後1時から旧総曲輪小体育館で行い、終了後、市民向けの見学会を

行う。富山国際会議場では記念フォーラムがある。

この記事は、webunで会員以外の方もご覧になれます。